



PURE/THAI 発

EXCITING/Thailand News

Relaxation/Place (くつろぎのいおり)

422/33 Soi 7 Chiangmailand T.Changklan A.Muang Chiangmai Thailand Tel: 0 53 904955 e-mail h2.kanang@gmail.com

すいかの名産地



桜満開の季節を迎えた日本の各地から、花見の便りが届いています。チェンマイの桜は1月で、今は、すいかの季節

https://www.youtube.com/watch?v=xd_Q0sVDgsl <https://www.youtube.com/watch?v=3dRuMRXA-g>

タイは、ほぼ1年中すいかを食べられますが、3~4月が旬の季節。路上に露天を構えた売店が現れています。

(上左側の縞々のすいかは、中が黄色。甘みも程好く正に旬！右の大きな葉っぱは、何でしょう？…タバコ これも旬！



タイの桜は以前に紹介したヒマラヤ桜で、最近ではバンコクから花見客が訪れるようになって、今まで知られざる山々が一躍観光地化されて来ているとも聞きます。ニュースでは、桜満開の関東地方で大雪が降ったとの事で、異常・異変の年を感じます。こじつけのようであっても、縄文人は、この感性を持ってその年を占い身構え対処して命を繋いで来たものと思っています。

それはそうとして、今、チェンマイはすいかの旬！
1Kg15~20パーツですから、大玉の5Kgでも何と300円。(今頃、日本ですいかを買ったらいくら?)

毎週日曜日に通っているサンカムペン温泉の帰り道の露天で、毎週買って帰るものだから、売っている農家の女将さんともすっかり顔なじみになって、満面の笑みで迎えてもらっている。
「今日は黄色？赤？…」「今日は赤で良いよ…」



嫌煙権主張の皆様！チェンマイ・チェンライを始め、北タイ(ランナー)地方は、タバコの名産地でもあります。私のようなヘビースモーカーにとっては、この上ない天国のような土地柄でもありますが、はっきり云って、タイのタバコはあまり美味しくない。製造法やブレンド法の違いだろうと思いますが、単純に栽培し、乾燥し、刻んで加工し、『はい！たばこ』でマイペンライ！ではないかと思われます。

せっかく良い気候・風土・土壌があって、タバコの名産地になっているのだから、チットは研究して、高級タバコを作ったらどうかと思いますが、そこは、根っからのマイペンライ気質。世界的嫌煙権・増税の対象商品になっていて、作れば売れる作物だけに、そこまでやらないのかも知れません。(だから、名産地に居ても、わざわざまずいタバコは買いません)



岩タバコ

たばこの葉を見たのは、こちらに来て初めてでしたが、学生時代鎌倉の岩場に自生していた岩タバコという植物には興味を持っていて、タバコの葉っぱは大きいという認識はありました。

3~4月はラムヤイ(竜眼)の花のシーズンで、ご存知！ラムヤイ蜂蜜の旬の季節でもあります。

異常気象のせいもあって、今年は蜂蜜の収穫量が少ないと聞きます。販売価格に即反映しそうで心配です。果樹は、それでなくても豊作年と、不作年が交互に来るのも果樹を育てている方なら経験されているでしょう。

蜂蜜もさる事ながら、今注目しているのが花粉粒です。ローヤルゼリーの大本は花粉です。ミツバチの体内での生成過程が違うものですが、栄養価が高い逸品。



竜眼の花と蜜蜂



竜眼蜂蜜 1Kg

<http://every-day-life.com/honey-diabetes/>

蜂蜜と糖尿病

https://www.mercola.com/article/diet/bee_pollen.htm ビー・ポレン(花粉粒)

今が良ければ、マイペンライ？

タイに居て、常々聞く言葉「マイペンライ！」意味は、問題ない！大丈夫！何とかなる！だが、それらの多くは、問題あり！全然大丈夫じゃない！どうにもならない！ことが多く、その場しのぎで発した言葉でしかないことに出くわし、後から收拾の付かない事になる危険な言葉でもある。あろう事か！政府(財務省)のマイペンライ！

国民周知の事実(公文書書き換え事件)として、政府(財務省)の腐り切ったマイペンライ思考と言行が白日の下に晒された。この体質は、戦後70年間の官僚習慣病のようなものであって、財務省に限ったものではない事も、あちこちの省庁から腐臭が漂っている事からも明らかだ。正に、本誌82号に記載した粉瘤(アテローム)の政府バージョンというに相応しい。

まずは、3月14日、参議院予算委員会で質問に立った西田昌司議員の動画をご覧下さい。
https://www.youtube.com/watch?v=Gq0fsP5z_jE 国会中継:最新版西田劇場(激情)
動画の中(25分50秒)で「財務省による財務省のための情報操作…」という、事件の核心を突いた発言があります。国家公務員たる者が国益や国民のために仕事をしていない核心です。

本誌読者の皆様は、西田昌司議員が民主党政権時代に蓮舫議員を追及し、前原(当時外相)議員を引き摺り下ろした国会質疑(西田劇場)で名を馳せた事でご存知の方が多いでしょう。



だからと云って、西田議員を全面支持しているわけではありません。全面的に支持できる国会議員なんて、ほんの数人しか居ませんし、そういう人が選挙区にいないと云うのも現実です。官僚に至っては、それこそ知る機会もなければ、顔も名前も知りませんから、支持も信用もできません。

誰だって、自分が一番大切だし、出来る限り良い思いをしたいという願望を抱いている。個人的・私的願望が高まり、願望が欲望に変化するのも動物の本能だから、一様に否定したり、抑制すれば良いというものでもない。但し、自分の願望や欲望や保身のための言動が、反って自分のためにならない(なっていない)ことの方が多い。自分のためにが、ためにならないければ、願望も欲望も保身も達成できない。

具体的には、疲れを癒すための休息は必要だが、サボタージュを決め込んだら、単なる時間の空費に終わり、否生産活動だから収入もなくなる。周りの目はごまかせないから、評価や信用までも失う最悪な結果をもたらす。(現・野党を始め、官僚の言動を見れば、これだという事だ)

『それでも、どうって事はない』というスタンスがマイペンライの真髓であって、純粹に今が良ければ後の事は知ったこっちゃない！無責任極まる言動がまかり通っている。こんな日本に誰がしたのかと云えば、歴代の悪名高い政治家？臆病者のGHQマッカーサー？それに追従してポチ化したマスメディア？戦勝国と、戦勝国でもない欺瞞国家の陰謀・策謀のなしたる結果か？これらの全てが日本を貶めて来た事は事実だが、今が良ければマイペンライを生きる術として受け容れて来た他でもない、無責任極まる日本人有権者でしかない。

今日は
お休みします。



素朴に感じた、『何か、おかしい？』『よくは分からないけれど、何か違うのでは？』という疑問を置き去りにし、『誤った正解のみに走ること』『正解を鵜呑みにして、高得点を得ようとする』『正解をも疑問視できなかったこと』など、マイペンライスタンスが、こんな日本を創り上げて来た根本ではないだろうか。

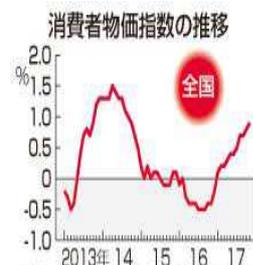
3月20日に閉幕した中国全人代大会は、別称シャンシャン大会と言われているが、習主席が終身国家主席になり、全権掌握の皇帝の座に就いたと報じられている。これも、マイペンライの典型である事が世界中に知れ渡ってしまった。

冬季五輪の返礼だか、なんだか分からない韓国芸術団が、この時期ピョンヤンで公演というのもマイペンライ外交でしかない。

隣国ばかりか、日本国内もマイペンライが横行しているのは周知の事実で、冒頭の国会騒動をやっている最中に、黒田日銀総裁の任期延長が決まってしまった。金融緩和政策を打ち出し物価2%目標(インフレターゲット)を掲げ5年間の任期中に未達成で、デフレから抜け出せない。金融緩和政策ではダメだと知りつつ、(新規国債発行による財政出動以外に)方策はないと知りつつ次の5年間も金融緩和政策で行くと云って憚らない。

これで、来年消費増税(を10%に値上げ)などしようものなら、日本のデフレの出口は塞がれ、国民は更に疲弊せざるを得ない。それでも、マイペンライで済まされますか？

国民の生命財産を守らない事を国是にしている憲法・政府(与党/野党)・官僚・財界・などに頼っても、誰も助けてくれません。自助努力以外に救われないことを前提に、デフレ不況下でも、心身+経済力の健康回復を図ろうという志を同じくする人と共に、サバイバルに賭けよう！儲かる話には乗ってはいけません。儲ける話はトコトン詰めていく。それが、サバイバル/政策。



正解



世界の8人の…

世界の8人の資産額が、世界人口74億人の資産の半分近くに相当するというデータがある。(以下の動画から)
<https://www.youtube.com/watch?v=0L-Oovjf2g> 欲望の経済史 これ程までの格差では、もはや格差ではなく、異次元の世界としか言いようがない。異次元の企業家達によって世界は牛耳られ、席卷されている。



彼らのサクセスストーリーを知りたいければ、調べてもらえばいい事で、一般的な個人所得をはるかに凌ぐ富豪になったのは、結果論であって、共通して云える事は時代の要請に応える能力と、機会を逃さず行動できたからだと思う。『富豪になろう』と思って事業展開したのではなく、興味関心を情熱レベルに高め、事業展開する上で発生する諸問題から逃げず、ひたすらにのめりこんで解決して行った結果、『たまたまの偶然(幸運や出会い)が重なり』異次元の住人になったと考えられる。とすれば、その機会と可能性は万人に等しく与えられているはずだが、凡人は踏み出せない。

- 1位 ビル・ゲイツ氏(米国) マイクロソフト創業者 750億ドル(約8兆5000億円)
- 2位 アマンシオ・オルテガ氏(スペイン) ZARA創業者 670億ドル
- 3位 ウォーレン・バフェット氏(米国) バークシャー・ハザウェイの筆頭株主 608億ドル
- 4位 カルロス・スリム氏(メキシコ) グルポ・カルソ創業者 500億ドル
- 5位 ジェフ・ベゾス氏(米国) アマゾン創業者 452億ドル
- 6位 マーク・ザッカーバーグ氏 フェイスブック共同創業者 446億ドル
- 7位 ラリー・エリソン氏 オラクル共同創業者 436億ドル
- 8位 マイケル・ブルームバーグ氏 ブルームバーグ創業者 400億ドル

機会均等



この8人の下に連なる、有象無象の億万\$長者は枚挙に暇がない。億万\$長者を目指そう! などと云いたいのではない。逆立ちしても、何をしても、所詮ムリな事を云ったり、夢想しても、発想力と、行動力が異次元レベルでない凡人では、チマチマと稼ぐくらいが関の山というのが、現実だからだ。

だからと云って、最初から諦めてしまっでは、機会逃しの名人には成れても、貧乏神の親友にしかなれない。桁外れの大金持ちにならなくても、(成れなくても)せめて豊かさの実感くらいは味わいたいというのは万人共通の願望であり欲望だろう。

精神的な豊かさは満喫しているものの、経済的な豊かさには程遠い。と云うのは、身体は丈夫だが、心が病んでいる。というのと同じで、生活のバランスが取れていない。言い換えれば『願望・欲望欠損症(金欠病)』という生活習慣病でもある。

これの、対症療法が、前号で掲げた『年金/所得倍増計画』だが、興味・関心の無い人に説明しても上の空だし、アクションを起こす事もないし、諸問題にぶち当たれば直ぐに逃げ出すし、のめりこんでも解決を計ろうともしないだろう。そういう人にはたまたまの偶然的幸運や出会いなどの機会も訪れない。発想の転換を計る意味からも以下の動画をご覧下さい。

https://www.youtube.com/watch?v=A_oZUesxyYo 欲望の資本主義

マクロ経済学的観点からは上記の動画は理解できても、個人レベルでのミクロ経済学的観点からすれば、以下の動画の方が参考になるかも知れない。何れにしても欠損している願望や欲望をかき立たせなければ話は始まらない。アドレナリン・ドーパミン・セロトニンの3ホルモンの分泌を総動員して、生活習慣病を改善するか、しないかでしかない。

<https://www.youtube.com/watch?v=S-fflGScXfk> 魂の事業 **必見動画**

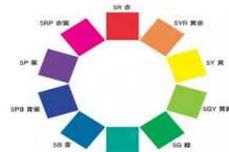


『年金/所得倍増計画』は、一攫千金を狙う投機計画(儲かる話)ではない。5年から10年かけて、脚と頭を使って稼ぐ投資計画(儲ける話)で、『豊かさを実感できる水準』を目標に掲げ、確実に実行した者勝ちの世界だという事です。

終焉は、瞬時にやって来る

憲法改正論議の天王山は、9条の取り扱いをどうするか？ですが、現法のままでもよくない事は周知の事実でありながら、反日護憲派・似非保守護憲派・無関心護憲派の牙城を崩せず、改憲を目指す政権与党側は、四苦八苦の様相を深めています。2項削除できないならば、3項加筆しかありませんが、どう加筆するかは国語の問題です。

この議論を深め、国民の意識を転換させなければならない時期に、作為的に『待った！』を掛けているのが反日分子で、野党ばかりか、政権与党内に反日分子が巣食っている事も明らかになって来ている。最も性質の悪いのが、反日を標榜して止まない反日国や反日外国人それらの国や人にシンパシーを感じ、持っている者達だから識別(色分け)しやすい。



これが、政官財・マスコミの隅々にまで行き渡っているから、無防備な国民は簡単に騙され、弄ばれている。9条の会・孔子学院・野党への投票などに走っている。反日思想を持てば、反日行動や言動に出るのは当たり前で、これが日本人なら、自己否定以外の何ものでもない。帰化反日分子もまた、日本人ではない(似非日本人だ)から、これらと同類に看做して間違いはない。ものついでに云っておけば、反日外国人は、近隣国に限った事ではない。同盟国・親日国の中にも、腐るほど居る事は留意しておく必要がある。(腐臭を嗅ぎ分ける嗅覚が必要だ)

あなたの知らない帰化系議員
このままでは日本が崩壊します



出自公表の義務化と
スパイ防止法を急げ

もり・かけ蕎麦談義が、エスカレートし、憲法改正論議が成りを潜めてしまっている。逆な言い方をすれば、憲法改正論議を進めさせないために、蕎麦談義を引っ張り続けている(反日行動=偽造・捏造・改ざん・虚偽を尽くして正論を阻む行動)とも云えるだろう。したたかな金正恩は、敵の敵を味方にする好機を狙って訪中した。

それならば、蕎麦談義は国会に任せ、国民レベルでは憲法改正論議を進めて、提案されている憲法9条3項加筆をどうするか考えて置く必要があるだろう。何の考えも持たずに常々、宛がい扶持で暮らせば何とかなる時代はとくに終焉している認識を持って、論議の中心(自国の防衛のために自衛隊を表記するか、自衛権と表記するか、と云う問題)をどうするか？読者諸兄はどちらですか？私の3項加筆の文言は、『自国の防衛のために…』までは同じでも、『第2項の限りではない。』が最良であると考えています。『第2項削除ではなく、全否定です』

削除しなくても、付け足ししなくても、全否定してしまえば、『削除と付け足し効果』を発揮する文言は、「これっきゃない！」と思っています。2項の書き出しが『前項の目的を達するため…』となっている訳ですから、『自国の防衛のため…』に文句をつける国には、「あなたの国はどうなっているの？」と聞き返せば、反論できないはず。あえて付け足せば、3項の頭書きに第3項 **但し**、自国の防衛のために…とすればベストです。だ・か・ら・国語の問題なのです。

但し、…
の限りではない

憲法改正論議も、グダグダいつまでもやっていないで、さっさと片付けて貰いたいものです。何故ならば、終焉は予告もなくある日突然、瞬時にやって来るものだからです。至近な話では、ピュアタイ開業時に入職し、大変貢献してくれ、その後独立開業したセラピスト兼フロントマネージャーだったソーピンさん(享年47歳)が、3月19日に交通事故で亡くなったという訃報を受けた事です。10年前に、最初に来店されたお客様が、未だに通って来て頂けているのも、彼女のマッサージ技術の伝承があつてのことです。葬儀・荼毘にも参列しました。



在りし日のソーピン



信じる、信じないは個人の自由ですから、強要はしませんが、天は世を見て災厄をもたらすものだと思います。日本人は、縄文時代からこの事を知っていて、天を恐れ、天に恵みの感謝を捧げ、天の声を聞きながら命を繋いで来たものと思っています。良心は天に通じ、悪心も天に聞かれて『お天道様がみている』で自己規制抑制が働き、ねじが緩んでいる間違い多き人(私)は呵責に苛まれるばかりです。

天を神に置き換え、宗教心に導く事は人為的作為であって、私は馴染みません。自然の移り変わり、自然エネルギーの蓄積と飽和状態、物理的・天文学的現象がたまたまの機会にやって来て、符合すると云う事で、受け止め方(感性)です。

以下の2本の動画をご覧下さい。2本目の動画が現実になったら、蕎麦屋も改憲も、へったくれもなく一貫の終わりです。その確率がどのくらいかは分かりませんが、終焉は瞬時にやって来る心構えだけは持っておいた方がよさそうです。

- <https://www.youtube.com/watch?v=Csvnzv78fFs> 未確認飛行物体 UFO
- <https://www.youtube.com/watch?v=KXRaz91lvmc> 地殻津波 **必見動画**

現在、日本で公開中のアニメ映画がチェンマイに来たら、是非見たいという作品があります。『君の名は』『この世界の片隅に』『打ち上げ花火』は、ご覧になりましたか？これらに引き続いて、4本目の作品が楽しみです。

<https://www.youtube.com/watch?v=BzuhnGrt1-Y> さよならの朝に約束の花をかざろう